

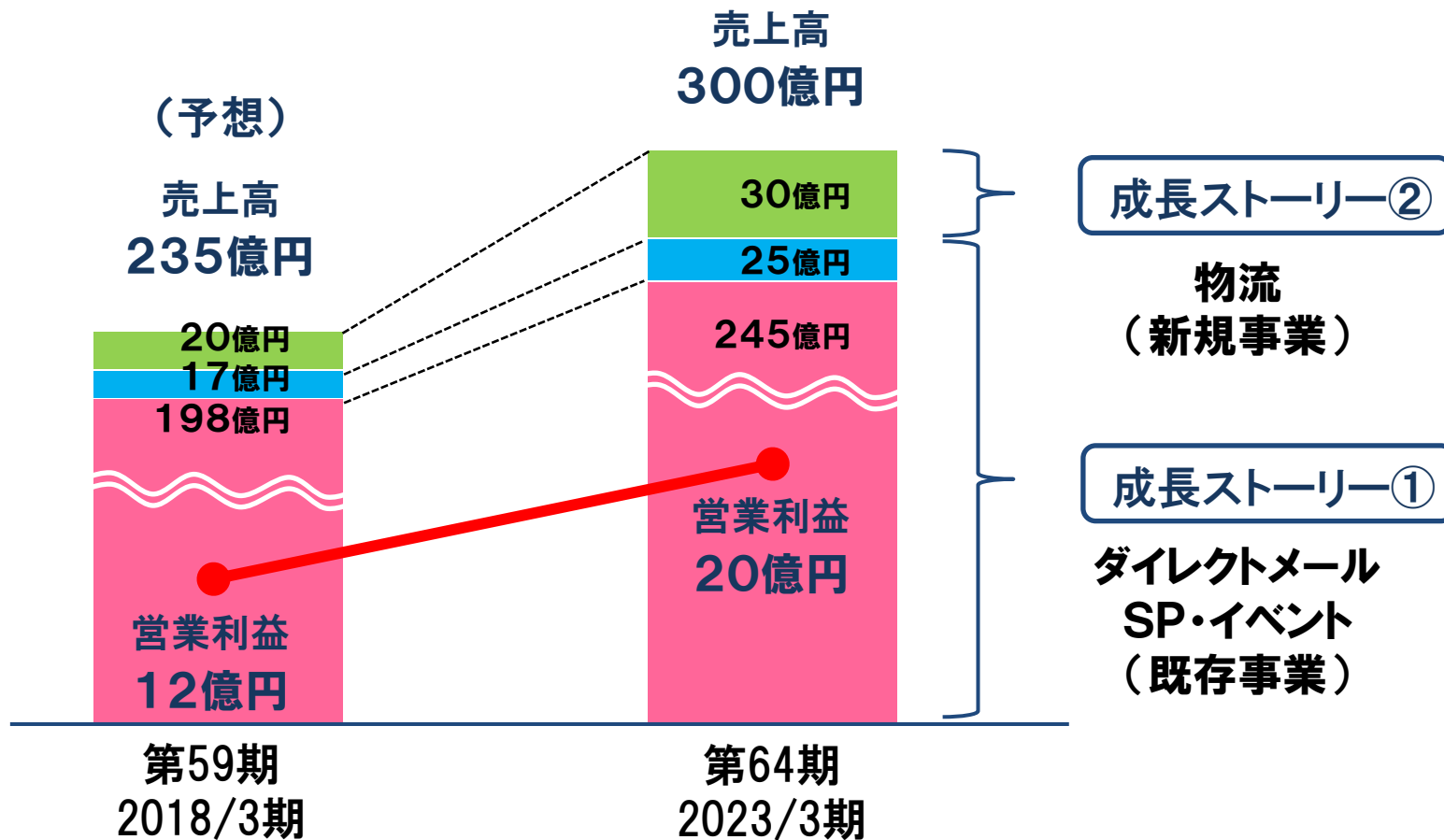
# 中期経営計画

2018年2月14日

株式会社ディーエムエス

**1**

# 中期目標



5年後には...	売上高	+30%	⇒	300億円
	営業利益	+60%	⇒	20億円

2

# 成長ストーリー

- DMといえばDMS

  - ⇒ 認知度

- 圧倒的な生産能力と品質

  - ⇒ 充実の設備

- 年間DM取扱い3億通以上

  - ⇒ 規模の優位性

- 大手企業との多くの取引

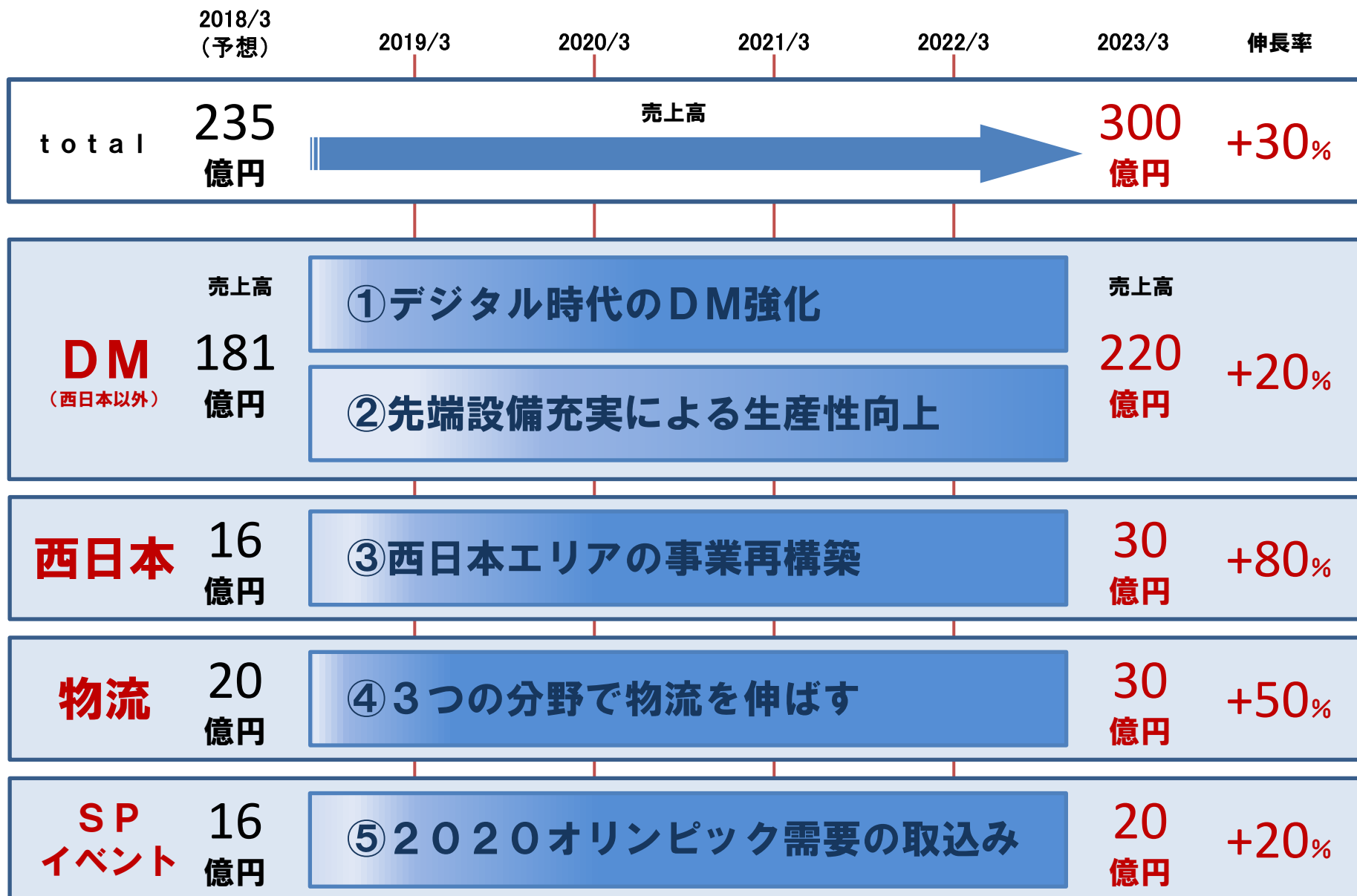
  - ⇒ 経験効果



DM 3,800億円  
成長の余白

現在のDMS  
235億円

現在の業容と市場を比較すると成長の余地は大きい。



# 成長ストーリー①

リーディングカンパニーの優位性活かし、  
3,800億円ダイレクトメール市場  
シェアナンバー1の地位をさらに拡大。

- ・ 情報技術やAIの進展でデータの蓄積や利用がますます進む。
- ・ ネット上に情報があふれる中でDMの利用価値が高まる。

データ活用

ビッグデータ

情報技術  
AI(人工知能)  
などの先進技術

+



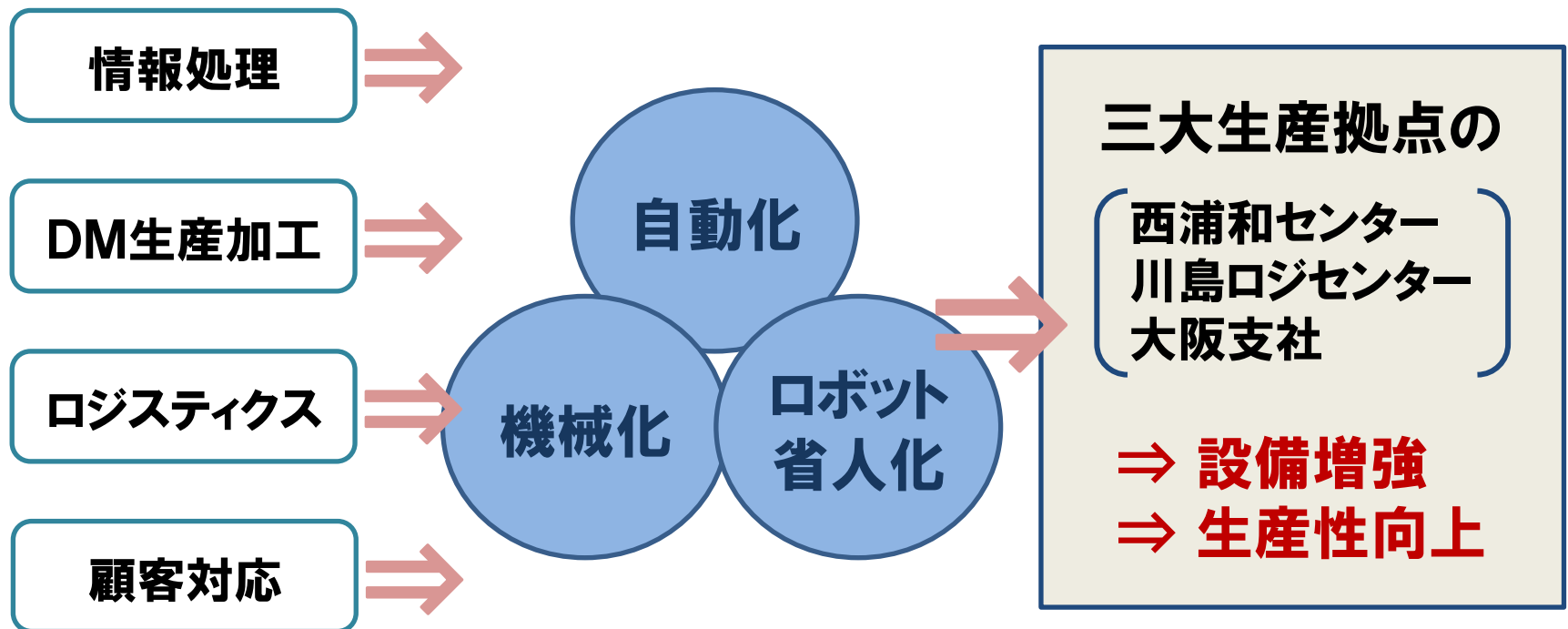
デジタル



DMとデジタルの連携



事業拡大に合わせて業務部門の生産性・キャパシティ向上の取組み中。



第二の大都市圏である一方、  
当社の全体の1 / 10以下の  
業容である大阪支社を再構築。

営業開発の余白を残す  
西日本エリア

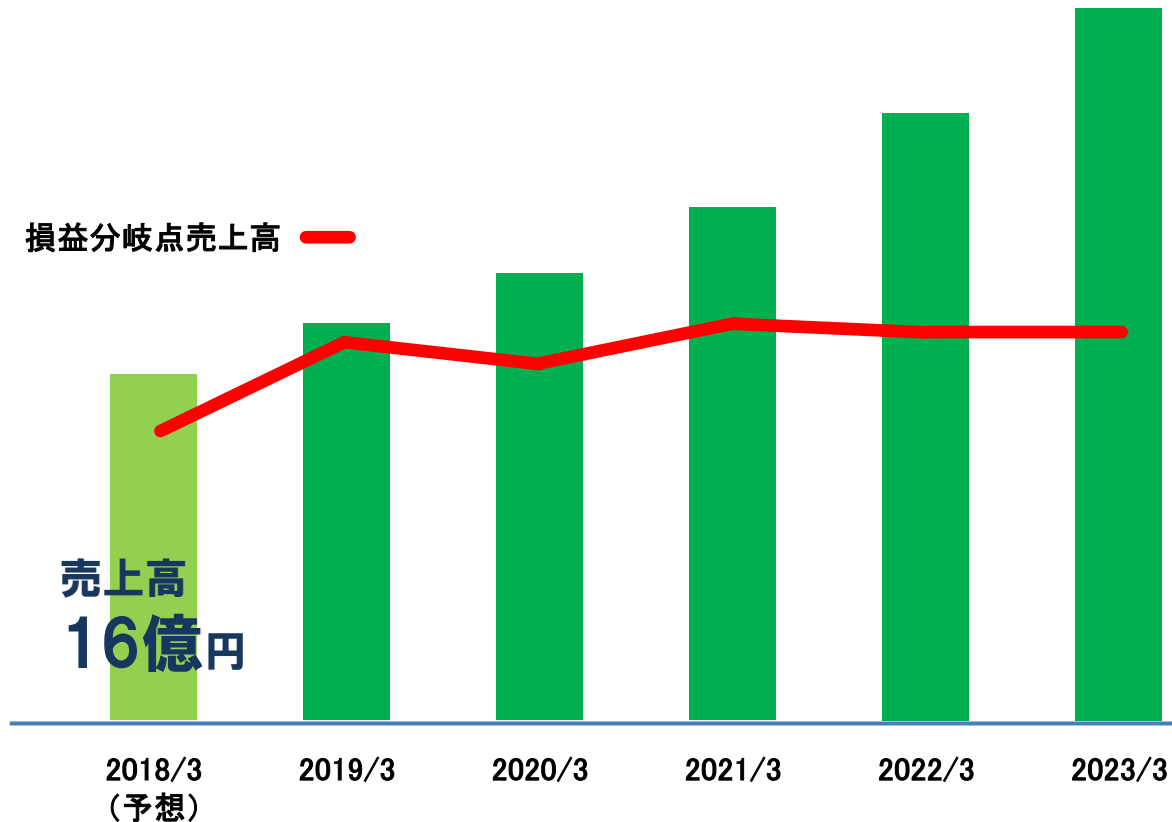
関西  
中部

九州  
四国

“西高東低”といわれる  
通販大国九州エリアで新たに  
DM・SP・物流分野を開拓。

## 西日本エリアの成長イメージ

売上高 30億円  
伸長率 +80%



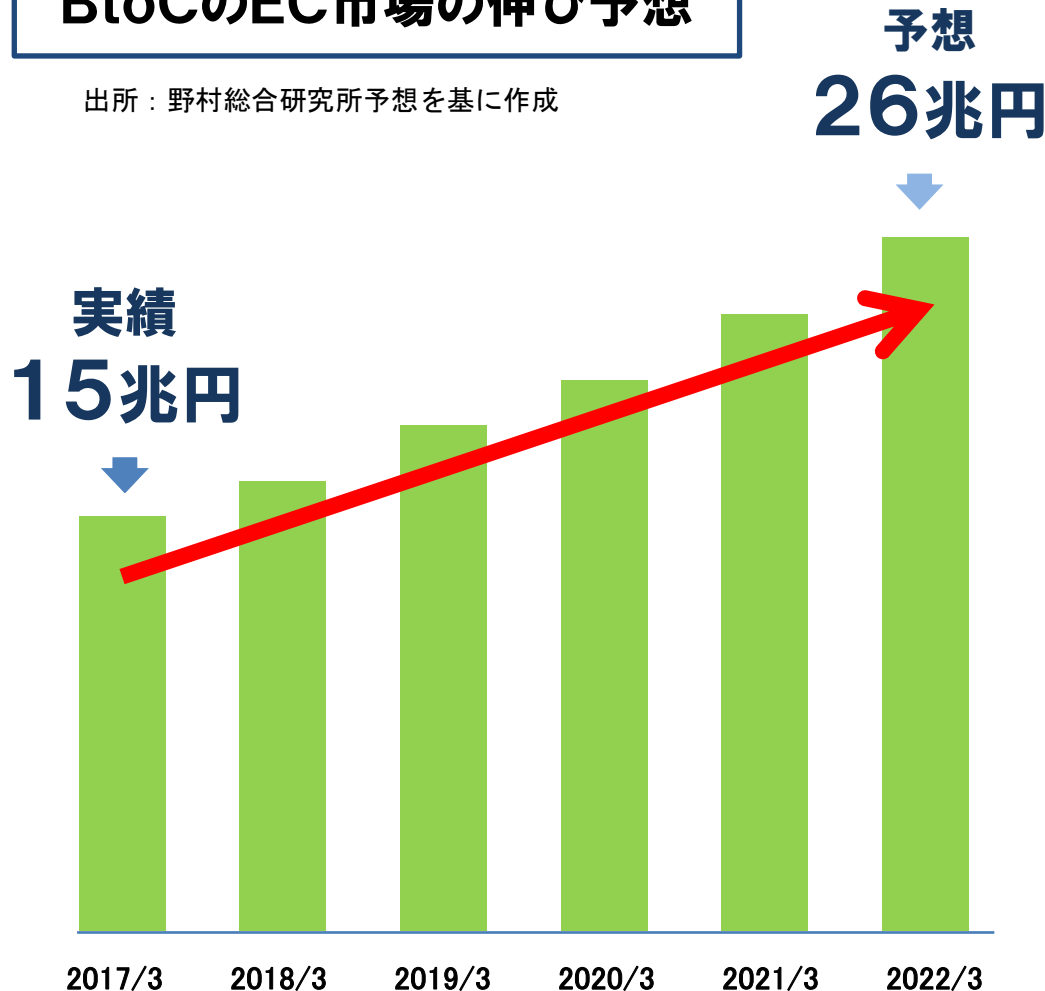
西日本  
営業利益  
3億円

## 成長ストーリー②

**急拡大するEC通販市場...  
合理化ニーズが伸びる企業間物流を  
機会に「物流」を次なる成長事業に育成。**

## BtoCのEC市場の伸び予想

出所：野村総合研究所予想を基に作成

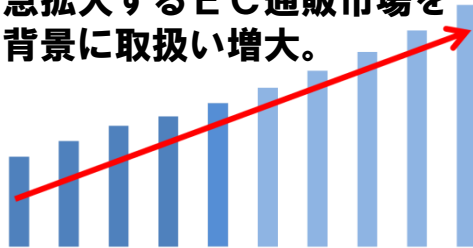


EC通販市場は、  
この後も継続した  
伸長が期待される  
数少ない分野

DM事業のノウハウを  
活かせる有望領域。

## 通販出荷物流

急拡大するEC通販市場を背景に取扱い増大。



5 億円 → 10 億円 伸長率 +100%

+

## 販促支援物流

アウトソーシング需要が伸びる企業間ニーズ。



8 億円 → 12 億円 伸長率 +50%

+

## キャンペーン物流

年間を通じた大型キャンペーン景品発送。



7 億円 → 8 億円 伸長率 +15%

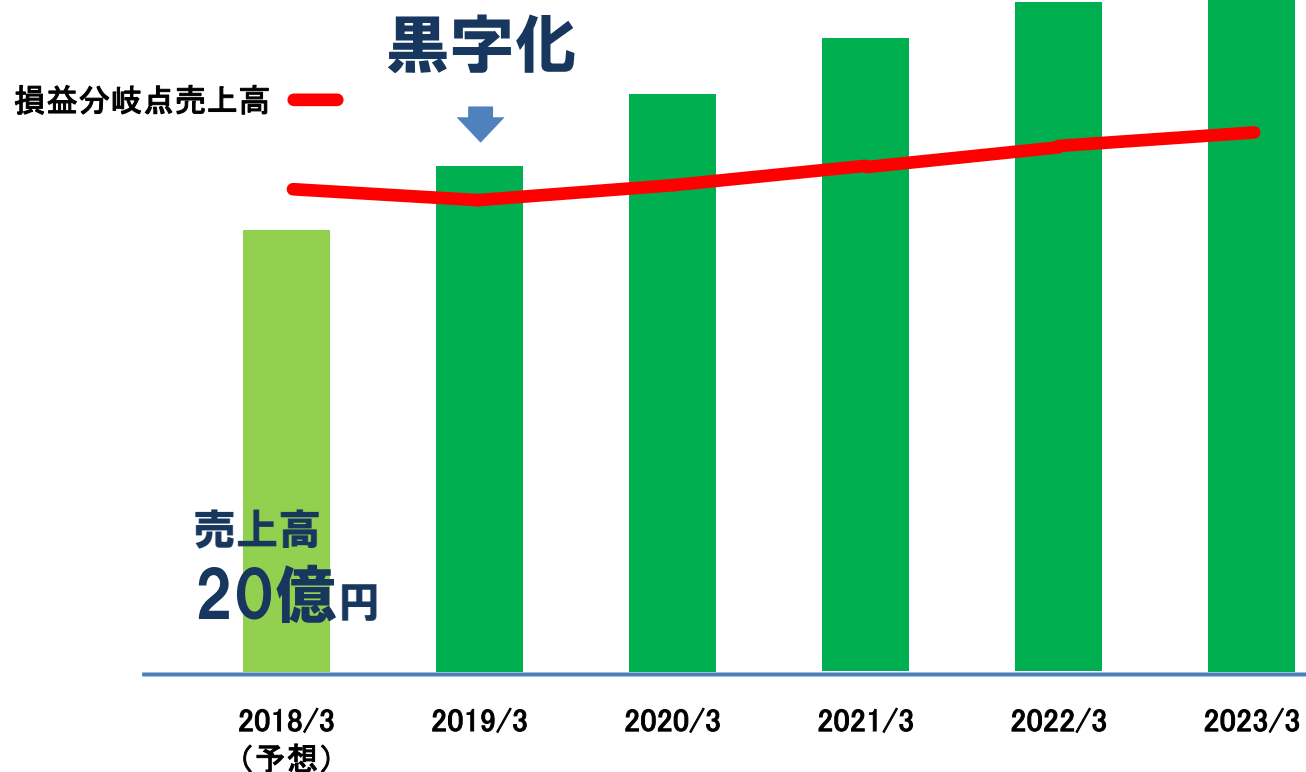
+

物流代行に終始せず、DM・SP・イベントとの組み合わせで顧客企業の売上拡大に貢献。

さらなる  
物量拡大へ

## 川島ロジスティクスセンター 物流事業の成長イメージ

売上高 30億円  
伸長率 +50%



物流部門  
営業利益  
2億円

2018年1月9日開設



旧川島センターでの受注が順調に進んだことで、  
次なる **30 億円規模** を視野に入れた業容拡大を図る。





2020オリンピックに向け、  
スポーツ振興イベントなどの  
開催が盛んになってきている。

スポーツ・文化イベントの  
運営支援ノウハウと実績を  
強みに有力案件の取込みを  
目指す。

3

# 利益還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題のひとつと認識し、経営基盤の強化を図りつつ、競争力強化のための設備投資の原資を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針としています。

より一層の株主の皆様への利益還元を図るため、業績に応じた利益配分の目安として、段階的に配当性向30%を目指します。

	従来予想 (2017.5.20)	修正予想 (2018.1.19)	段階的な目標
配当性向	11.7%	13.8%	30.0%
配当金	17円	20円	—

3円増配



**顧客企業と生活者の  
よい関係づくりを  
トータルサポート**

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

管理本部 経理部  
部長代理 橋本竜毅  
03-3293-2961  
keiri@dmsjp.co.jp